

日経平均株価などの銘柄定期入れ替え等について

日本経済新聞社は、日経平均株価および日経株価指数300（日経300）の構成銘柄について定期見直しの結果、日経平均は2銘柄、日経300は3銘柄を以下のとおり入れ替えます。

また日経平均株価の構成銘柄が実施を予定している株式分割や株式併合に対する算出上の取り扱いを以下のとおりとします。

1. 定期見直しによる銘柄入れ替えについて

① 日経平均株価

実施日	コード	採用銘柄	コード	除外銘柄
10月1日	1808	長谷工コーポレーション (250)	3110	日東紡
	2432	ディー・エヌ・エー (500/3)	8803	平和不動産

注) 採用銘柄のカッコ内はみなし額面（円）。長谷工コーポレーションは2013年10月1日効力発生 of 株式併合（5:1）に伴い、みなし額面を50円から併合比率に合わせて変更、またディー・エヌ・エーは2010年6月1日効力発生 of 株式分割（1:300）に伴い、みなし額面5万円から分割比率に合わせて変更しています。

定期見直し基準に照らし、市場流動性の観点から平和不動産（セクター＝資本財・その他）を除外し、ディー・エヌ・エー（消費）を新規採用します。またセクター間の銘柄過不足調整により、日東紡（素材）を除外し、長谷工コーポレーション（資本財・その他）を新規に採用します。銘柄は10月1日の算出から入れ替えます。

注) セクター：日経業種分類（36分類）を、技術、金融、消費、素材、資本財・その他、運輸・公共の6つに集約したもの。

② 日経300

実施日	コード	採用銘柄	コード	除外銘柄
10月1日	4755	楽天	2264	森永乳業
	8697	日本取引所グループ	6349	小森コーポレーション
	9201	日本航空	9749	富士ソフト

2. 日経平均構成銘柄の株式分割・株式併合の取り扱いについて

次の3銘柄が10月1日を効力発生日として実施を予定する株式分割、株式併合に対しては、それぞれの分割（併合）比率に合わせて、9月28日の算出から、みなし額面を変更します。

指数算出に用いる株価の水準が株式分割・併合の前後で変わらないように、当該銘柄のみなし額面変更で調整するものです。したがって、この株式分割・併合に伴う除数変更は発生しません。

コード	対象銘柄	分割・併合	現みなし額面	新みなし額面
2269	明治ホールディングス	1:2分割	500円	250円
5332	TOTO	2:1併合	50円	100円
5401	新日鐵住金	10:1併合	50円	500円

以上